

若手社員に贈るメッセージ

# 僕は、やっぱり夢に向かって がんばる若者には 「がんばれ」と言いたい

芸人の世界を通して夢と現実の間で苦悩する若者の姿を描いた『火花』で、第153回芥川賞を受賞した又吉直樹氏。この5月、2年ぶりに長編を上梓した。師弟の関係から恋愛に設定が変わったものの、やはり悩みに揺れる若者が描かれている。著者の又吉氏に、夢や仕事への思いを聞いた――。

芸人／作家

またよしなおき

## 又吉直樹

# 1

Message

「変な人」と「見まっとうそう  
で、実は変な人」とが関わりあって、  
そこで生まれるいびつなものに、  
僕は昔から興味がありました

## 受

賞後初の長編小説『劇場』は一  
転して、売れない劇作家永田と  
地方から女優を目指して上京した沙希  
との恋愛物語となっている。なぜ演劇と  
いう分野、そして恋愛というテーマを選

んだのだろう。

「今回は、東京で出会い一緒に暮らすよ  
うになった若い男女の関係性を描いて  
いったら、何か見えてくるのではないか  
というのがスタートでした。だから、主

